



2016年12月9日

各 位

会 社 名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話 番 号 03-3525-4707

2016年12月 新製品（追補収載品）発売のお知らせ

キョーリン製薬ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：穂川 稔）の子会社であるキョーリン リメディオ株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：大野田 道郎）は2016年12月 追補収載品2成分4品目をこの度、新発売いたしました。

キョーリン リメディオ㈱では、調剤過誤の防止、患者さんの誤飲防止、アドヒアランス向上の為に独自の工夫を行っています。今後も、信頼感のあるジェネリック医薬品を発売することにより健康貢献という企業理念の具現化を目指します。

記

追補収載品

品 名	包 装
ピタバスタチンCa・OD錠1mg「杏林」	PTP：100錠、140錠、500錠
ピタバスタチンCa・OD錠2mg「杏林」	PTP：100錠、140錠、500錠
ピタバスタチンCa・OD錠4mg「杏林」	PTP：100錠
オランザピン細粒1%「杏林」	バラ：100g

以 上

<製品概要>

1. 製品名

和名：ピタバスタチン Ca・OD錠 1mg/2mg/4mg 「杏林」

洋名：PITAVASTATIN Ca・OD Tablets 1mg/2mg/4mg “KYORIN”

2. 一般名

ピタバスタチンカルシウム水和物

3. 効能・効果

高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症

4. 用法・用量

通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1~2mgを1日1回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。

5. 薬価

1mg 1錠： 24.40円

2mg 1錠： 46.30円

4mg 1錠： 90.90円

6. 包装及びJANコード/GS1DataBar (販売包装単位)

1mg

PTP100錠 4987060307231/ (01) 14987060307238

PTP140錠 4987060307248/ (01) 14987060307245

PTP500錠 4987060307255/ (01) 14987060307252

2mg

PTP100錠 4987060307262/ (01) 14987060307269

PTP140錠 4987060307279/ (01) 14987060307276

PTP500錠 4987060307286/ (01) 14987060307283

4mg

PTP100錠 4987060307293/ (01) 14987060307290

7. 薬価収載日

2016年12月9日

8. 発売日

2016年12月9日

9. 特徴

<PTPの特徴>

- ・製品名を中央に大きく表示
- ・一錠毎に成分名と含量を表示
- ・薬効「高コレステロール血症治療薬」を表示
- ・GS1 データバーコードを上下2箇所に記載

<錠剤の特徴>

- ・「成分名」「含量」「屋号」を両面印字

<製品概要>

1. 製品名

和名：オランザピン細粒1%「杏林」

洋名：OLANZAPINE Fine Granules 1% “KYORIN”

2. 一般名

オランザピン

3. 効能・効果

統合失調症、双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善

4. 用法・用量

統合失調症：通常、成人にはオランザピンとして5～10mgを1日1回経口投与により開始する。維持量として1日1回10mg経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日量は20mgを超えないこと。

双極性障害における躁症状の改善：通常、成人にはオランザピンとして10mgを1日1回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は20mgを超えないこと。

双極性障害におけるうつ症状の改善：通常、成人にはオランザピンとして5mgを1日1回経口投与により開始し、その後1日1回10mgに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、1日量は20mgを超えないこと。

5. 薬価

1%1g：154.60円

6. 包装及びJANコード/GS1DataBar（販売包装単位）

100g（バラ） 4987060307309 / (01) 14987060307306

7. 薬価収載日

2016年12月9日

8. 発売日

2016年12月9日

9. 特徴

- ・添加物の種類を削減
- ・静電気防止ボトルのため、薬剤の容器付着を防止